

旭川市立朝日小学校

いじめ防止に向けた児童の主体的な取組



朝日小学校では、『朝日、大好き！』を合い言葉に、全児童を対象として行う教育的予防に特に力を注いでいます。特に重視しているのは、①教職員が児童一人一人の『居場所づくり』に努める、②一人一人に育まれた自他に対する肯定感などを基に『絆づくり』をより確かなものにする、という2点です。春先に教職員で共通理解を図り、日々の教育活動に当たっています。

委員会活動においても、児童会本部が『朝日、大好き！』につながるスローガンを考案し（今年度は「元気と笑顔があふれる学校にしよう」です）、全ての委員会がその達成を目指して活動を計画・実施しています。

左の写真は本部・代表委員会発案の『朝日大好きプロジェクト』の取組です。各学級ごとに自分たちの頑張りや他の学級に知らせたいことをまとめています。作成したものは、職員室前の誰の目にも止まる場所に掲示しています。右の写真は、保体委員会の企画『みんなで笑顔DAY』の様子です。体力づくりを楽しみながら、且つ全校児童の絆を深めながら行うことを意識して実施しています。任意参加なのですが、どの学年からもたくさんの児童が参加するようになりました。他の委員会でも、生活委員会のあいさつ運動や報道委員会のお昼の校内放送など『朝日、大好き！』を意識した子どもたちの活動が学校のあちこちにあふれています。

今年は、スクールカウンセラーの畑先生に、年3回もおいでいただき、教育相談はもとより授業参観をはじめ子どもたちと一緒に給食を食べていただきました。

今後も、いじめ防止のためにも問題行動に対する適切な対応（医療的予防）にも増して、全児童を対象とした教育的予防に力を注ぎ、『朝日、大好き！』の定着に努めます。